

長崎県立五島南高等学校 運動部活動に係る活動方針

スポーツ医・科学的見地から

- ・ジュニア期におけるスポーツ活動時間について、「休養日を少なくとも1週間に1～2日設けること」さらに「週当たりの活動時間の上限は16時間未満とすること」が望ましい。(公益財団法人 日本スポーツ協会)

スポーツ庁

運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン (平成30年3月)

県教育委員会

長崎県運動部活動の在り方に関するガイドライン
(長崎県運動部活動の在り方に関する方針) (平成30年10月)

- ・「生徒のバランスのとれた生活と成長の確保」「スポーツ障害の予防」のほか、スポーツ医・科学的な必要性や生徒の発育・発達過程で最高のパフォーマンスの発揮や本人のやる気・意欲の向上のためにも、競技や種目の特性を踏まえつつ、運動部活動において適切な休養日及び活動時間を設定すること。
- ・生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図るとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにすること。
- ・生徒の自主的、自発的な参加により行われ、学校教育の一環として教育課程との関連を図り、合理的でかつ効率的・効果的に取り組むこと。
- ・学校全体として運動部活動の指導・運営に係る体制を構築すること。

運動部活動に係る学校の実情等

【生徒や保護者、地域の実情】

- ・各部は、部の目標に応じて活動を行っており、「体力・技術の向上」「仲間との関わりやすさ」を感じている生徒が多い。
- ・県大会優勝実績のある軟式野球部は伝統があり、保護者や地域、OBの期待も大きい。日々、九州大会出場を目指して活動しており、本校の特色ある教育活動をリードする部である。

【施設等の使用状況】

- ・基本的には、校内の施設を利用して活動し、体育館のローテーションも大きな支障はない。

【その他】

- ・地域に開かれた学校として、火・木・土曜の午後は、地域高齢者のグラウンドゴルフのために本校第1グラウンドを開放している。高齢者の方々と生徒たちが触れ合う機会となっている。

大会の参加について

【参加大会の基準】

- ・高等学校体育連盟
(高総体・新人大会・
選手権大会・選抜大会)
- ・高等学校野球連盟
(全国大会予選・九州大会予選 [春・秋])

本校の活動方針

【部活動のねらい】

- ・部活動の意義を踏まえつつ、生徒・保護者・同窓会の思いや地域の実情、各部の特性や競技レベル等を考慮し、部活動の活性化を通じた明るく活気のある学校づくりにつなげ、生徒がスポーツに親しみ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できる資質や能力を身に付け、よりよく生きる社会人へと成長することを期待する。

【休養日及び活動時間】

- ・学期中は、週当たり1日以上休養日を設ける。原則として、月に2回以上は週末を休養日とし、家庭の日(毎月第3日曜日)に配慮する。
- ・1日の活動時間は、原則として平日では2時間程度、休業日では3時間程度とし、週当たり16時間を超えないことを目安とする。

※活動時間は、身体的トレーニング効果が期待される主活動の時間(準備や後片付けを含む全体の時間が、部の練習時間)

【活動計画立案及び提出と公開】

- ・部顧問は、4月中に年間活動計画を作成する。また、月ごとの練習計画を翌月の5日までに作成する。年間活動計画や練習計画は、本校のホームページに掲載する。

【研修参加及び情報の共有、保護者や外部指導者との連携】

- ・部顧問は、計画的に各競技団体の研修会や教育委員会等主催の研修会に参加し、自らの指導力を養うとともに、教職員や外部指導者への情報提供を行う。
- ・保護者には、ホームページ等を通じて部活動の情報提供を行う。

【熱中症等の事故防止について】

- ・「熱中症は知識で防げる」という観点から、顧問、生徒共に熱中症に対する知識を深め、気象庁等の情報や熱中症計などを活用し、WBGTに応じた活動を行う。

【生徒数に応じた運動部設置】

- ・在籍生徒数が減少している中、運動部活動の統廃合を検討してきた。31年度は県高高総体で、バスケットボール部男子・女子の活動停止を決定している。今後も生徒のニーズに合わせた統廃合を行い、健康の保持増進や体力の向上とともに運動への意欲を高め、生涯にわたって豊かなスポーツライフの実現に向けた活動を行う。